

東海地域における環境活動の質的・量的な充実、地域での連携促進、組織機能強化のためのバックオフィス人材育成事業

活動地域 東海

つづける助成
3年目
知識の提供・普及啓発

養成研修参加者数	35人
OJT研修参加者数	2人
今年度計画の達成度	50%
目標達成度	60%



バックオフィス実務スキル学習会

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

バックオフィスに関わる業務全般について学べるOJT研修先として適切な団体を選び、受入れについて協力を得ること。

■ 工夫した点

座学だけではなく、OJT研修を中心に据えたこと。すでに複数の団体にバックオフィス業務に携わる先輩に同行し、実務の詳細を学ぶ機会が、研修生の実力アップに貢献した。

課題

中小の環境NPO等には、バックオフィスを専門に担える人材が不足しており、バックオフィス体制が脆弱である。バックオフィス業務が滞り活動に支障をきたす例もある。

目標

環境NPO等のバックオフィスニーズに応需できるバックオフィス専門人材を育成し輩出する。また専門人材のネットワーク化（バックオフィス専門家クラスターの形成）。

活動内容と成果

- バックオフィス業務全般（会計・税務・労務・法務・会員管理等）について、講座形式で学ぶとともに、支援員と一緒に団体を訪問し実際に作業するOJT研修を通じて、バックオフィススペシャリストになるために必要な経験を積んだ（今年度は2人）
- 研修を終えて実際に団体にバックオフィス業務を担い始めたスペシャリストたちが、業務に関する疑問・悩みを相談し合える場として、SNS上で「バックオフィスファーム」を運営した（4人のスペシャリストが加入している。今年度の修了生2人も加入見込）



昨年度の研修生からお話を伺う



税理士さんと講座内容の打合せ

全助成期間の活動を振り返って

環境分野だけではなく、NPO等はステークホルダーが多く、バックオフィス業務が複雑である。会計・労務・ICTなどの技術だけでなく、NPOの組織運営に対する理解、公的資金や民間助成金の管理という特殊な専門性が要求される。今回のプロジェクトを通じてある一定レベル（いわば初級レベル）の人材は育成できたが、今後彼らがあらゆる場面で活躍していくためには、より高度な実務経験を積む機会が必要だと感じている。

〒453-0041
愛知県名古屋市中村区本陣通5-6-1 地域資源長屋なかむら
電話：090-6618-0369
E-mail：higashiote@gmail.com
HP：http://blog.canpan.info/higashiote/



今後の展望

バックオフィスファームの運営を継続することで、バックオフィスの現場に入り始めたOJT卒業生が、より複雑・高度なバックオフィスの現場において経験を積み、一人前のバックオフィススペシャリストになれるよう、全力で支えていく。また、バックオフィススペシャリスト養成研修・バックオフィス実務スキル学習会等の企画についても受益者負担を基本に継続する予定である。